

PTシリーズ コネクタの結線手順

PTシリーズハンダ付型コンタクトコネクタの結線は下記手順に従って行って下さい。

1. 結線準備

カップリング・アダプタ・グロメット・スリーブ・クランプナット等の付属品が付くコネクタについては付属品を全て取りはずして下さい。

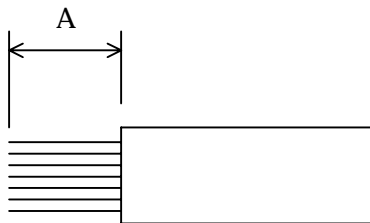
2. 洗浄

インサート・コンタクト・シェルの内径部は油等の汚染物がつかないようにして下さい。

洗浄の際にはエチルアルコールを染み込ませた布等で拭き取って下さい。

3. ハンダ付の為の電線処理

電線はワイヤーストリッパーを用いて下記寸法にストリップして下さい。



コンタクト サイズ	A 寸法 (mm)
# 1 6	5.3 ~ 5.8
# 2 0	3.7 ~ 4.2

4. 予備ハンダ

ストリップされたケーブルを良質のロジン系フラックスにてフラックス処理をした後、すぐに 60/40 ハンダを用いて予備ハンダを行って下さい。

5. 付属品の組付準備

ハンダ付けをする前に付属品をケーブルに通して下さい。

結線準備の際 取りはずした順序と方向を間違えないように注意して下さい。

また、グロメットにケーブルを通す際、グロメットの穴がインサートのコンタクト配置に対応するようにして下さい。

6. ハンダ付

各ケーブルを所定のコンタクトにハンダ付けして下さい。

・コネクタを固定する際、シェルが変形しないように注意して下さい。

又、コンタクトのカットが上方になるようにし、下方のコンタクトからハンダ付けを行うと容易に作業できます。

・ハンダ付けが終了後フラックス等をエチルアルコール等で洗浄して下さい。

7. 付属品の組付け

カップリング・アダプタ・グロメット・スリーブ・クランプナット等の付属品が付くコネクタについては付属品を取付けます。

グロメットを使用するコネクタの場合はグロメットをインサート後部に突き当たるまでスライドさせ、スリーブはグロメットの段がついたところまですべさせます。又、グロメットの使用しない穴には湿気封じの為にコンタクトサイズに合わせたシーリングプラグを挿入して下さい。

尚、アダプタ及びクランプナットの推奨締付けトルクは下表を参照下さい。

シェルサイズ	アダプタ・クランプナット 締付けトルク (kgfcm)
8	23 ~ 30
10	30 ~ 37
12	35 ~ 41
14	46 ~ 53
16	58 ~ 63
18	69 ~ 75
20	86 ~ 92
22	98 ~ 104
24	115 ~ 127